



ゴロスケ報々



写真：中山 蓮君

盛夏から晩秋にかけて見られます。 オオカマキリ

●友の会プロジェクト紹介（野草の調査と保護）●

「野草の調査と保護」は現在メンバー7人で活動しています。

活動内容は月3回で、モニ 1000 里地調査・植物相調査を2日、植物保護作業が1日です。活動日は大体月前半の火曜と木曜です。年1回はカシの森の草取り作業をし、不定期で希少植物の調査をすることもあります。酷暑の8月は活動を休むこともあります。

活動の目的は横浜自然観察の森が「生き物のにぎわいのある森」になるためのお手伝いをすることです。環境保全に興味のある方はここに参加して植物の勉強から始めて下さい。

植物に詳しくないけど保安全管理計画書にもとづいた「にぎわいのある森づくり」に参加してみたいという方たちの為には、年2回平日と土曜日に「野草保護の助っ人」という行事があります。環境保全ボランティアへのとっかかりとして参加してみませんか。安全に作業しながら、森の植物を少し覚えられるかも。7月には希少植物の保護作業を、12月には外来種の抜き取り作業を予定しています。対象は友の会会員と一般の方です。行事は申込制で人数制限を超えたら抽選になります。

野草の調査と保護ってどんなことをしているのかなと思ったらお試し参加してみてください。ただし希少な植物がどこにあるのかは人に教えないでください。

野草の調査と保護 篠原由紀子

友の会目標

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●5月定例会報告●

事務局からのお知らせ

日時 2023年5月21日(日) 9:15~11:02 (オンライン併用)
出席者 青木、秋元、井川、今村、大浦、落合、片岡、岸本、高橋、中里、西山、星隈、水上、山口、渡部、
観察センター 尾崎R、中沢R

議題

- 1 友の会の3月から5月までの行事・活動報告をしました。
「森を守るボランティア体験」は4月16日、2名参加者がありました。(畑、事務局担当)
PJ 行事では「季節の森を歩こう」(ハンミョウの会)、「みんなでバードウォッチング」(鳥のくらし発見隊)、「森の絵本を楽しもう」(森の絵本作りの会)、が実施されました。
- 2 8月までの友の会行事予定・活動予定を確認しました。
実施予定の行事は巻末の行事スケジュールをご覧ください。
- 3 その他
 - ・「秋の森まるごと体験」(10月15日(日))が4年振りに実施されます。
 - 参加予定のPJは カワセミFC、雑木林FC、畑PJ、ハンミョウの会、鳥のくらし発見隊、絵本づくりの会、定点カメラで動物調査です。
 - ・5人の新しい会員が加わりました。
- 4 センターより センター便りのページをご覧ください。

<次回定例会>

7月16日(日) 9:15~ を予定しています。(原則対面)

★定例会は会員どなたでも出席できます。オンライン併用ですとご自宅からの参加も可能です。

●5月理事会報告●

日時 2023年5月21日(日) 11:10~11:40 (オンライン併用)
出席者 青木、秋元、今村、大浦、片岡、中里、西山、星隈、水上、山口、尾崎R、(欠席:漆原、中塚)

1 役員・担当理事互選(総会資料により確認済)

会長:山口、副会長:大浦(定例会司会)、会計:青木(定例会司会)、事務局長:中里、編集・広報:今村
編集サポート:中里、秋元、会員交流行事:片岡、会員名簿管理:漆原、ネットワーク:秋元、
ホームページ:西山、安全管理:中塚

2 年間スケジュール(総会資料により確認済)

11/19 中間報告・次年度方針、1/21 次年度事業計画、3/17 総会準備ほか

3 利用推進会議(前期) 7月16日(日) 13:00~ 事業報告のみ

4 安全管理(危険情報報告等)

- ・安全管理講習会(当日午後実施)
- ・危険等事例報告(定例会で4月の事案2件報告済)
- ・園内のテント利用について占有行為となるため禁止されている旨を再確認しました。

5 その他

- ・昆虫調べ隊の参加デザインの整理・共有、事務局メーリングリスト再登録(理事・PM・レンジャー)、定例会議事録データ格納(当面は現方法を継続し今後整理)について確認しました。

<次回理事会>

日時 11月19日(日) 11:00~(定例会終了次第、早めに開始)

場所 自然観察センター研修室(オンライン併用)

議題 中間報告、次年度方針ほか

以上

スマホのカメラで星の写真を撮ろう

携帯電話（いわゆる”ガラケー”）にカメラが搭載されたのは1999年、撮った写真をメールで送れるようになった（”写メール”って知ってますか？）のが2000年。当時、携帯で写真が撮れてメールで送れるということに大変驚いた記憶があります。それから20年以上が経ちガラケーはスマホにかわり、カメラなどの機能も格段に進歩しました。（機種によりその機能や性能はさまざまですが・・・）

自然観察などの場面でも、スマホのカメラを使って写真を撮ったり、動画を撮ったりと、スマホを活用されている方も多いのではないのでしょうか。今まではそれなりの機材を揃えないと撮れなかったような記録も、スマホで撮れるようになっていきますね。例えば、花がだんだんと咲いて行くシーンをタイムラプスで撮ったり、動体検知機能で自動で生き物を撮ったりなどなど…。工夫次第でいろいろと活用できそうです。

そんな中で私がいま注目しているのは、スマホのカメラで星を撮ることです。

ツイッターでは、#スマホで天体写真、#スマホ天文部などで検索すると風景と星（星座）を写した星景写真や、スマホを天体望遠鏡に付けて惑星や星雲・星団を撮影した写真など、様々な天体写真が出てきます。これもスマホのカメラが進化して、暗いところでも写真が撮れるようになったからですね（すごいザックリした書き方ですが）。スマホのカメラ機能等にもよりますが、三脚にスマホをセット（場合によっては手持ちで）してシャッターを切れば、風景と共に星が撮れます（空が暗いところなら天の川も）。

旅行などで山や高原など星のきれいな所を訪れた時、特別に機材を持っていなくても気軽に星の写真が撮れるというのは魅力ですし、日常でもちょっとした天文イベントの時にも重宝します。

天体望遠鏡やフィールドスコープの接眼部にスマホのレンズをのぞかせて撮れば、月や惑星などを写すことも可能です。フィルムカメラで星の写真を撮っていた時代は、長い時間露光するとフィルムの感度が下る相反則不軌という現象で、さらに長時間露光することが必要でしたが、デジタルカメラではこの現象はないため、フィルムと比較して短い露光時間（シャッタースピード）で写すことができます。また、ISO感度もフィルムと異なり高く設定できるため、例えば30秒かけて撮っていた写真を2秒弱で撮るということも可能になります。特別な機材がなくても、工夫次第でスマホで星の写真を撮れるってスゴイと思いませんか？

秋元

写真1 2020年12月22日 土星と木星の会合（天体望遠鏡にipodtouchで撮影）

写真2 2022年12月22日 水星（画面上）と金星の会合 スマホで撮影



写真1



写真2

昨年同時期の友の会ブログ記事を再掲載して、この季節の森情報を紹介するコーナーです。

森の自然情報 ブログより

今回は、2022年6月25日付け「鳥のくらし発見隊」さんのブログです。
6月の森ではたくさんの幼鳥にも出会えるようです。

編集担当

6/21は夏至、一年で昼の時間が最も長い日でした。夏に至る…最も暑い季節を迎えます。そんな6月の森の様子です。



6/24 ホトギスの声が響きます。警戒心が強く、なかなか姿を見せてくれません。写真は境川の近くで撮れた一枚です。



6/10 生態園、シジウカラの幼鳥です。嘴も黄色くネクタイ模様も淡い色、モフモフの羽毛です。



6/18 森の家口、ハクセキレイの幼鳥です。額から背は灰褐色で顔は黄色みがかっています。

この時期、森では幼鳥がよく見られます。動きもぎこちなく、心細そうな目、ボサボサ、モフモフの羽毛、見るからに可愛いですね。成長が楽しみです。

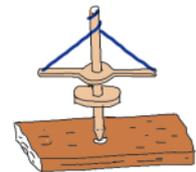
6/1 桜林、カワラヒワの幼鳥です。胸からお腹にかけて縦斑が広がります。翼の鮮やかな黄色が見えています。

●森を守るボランティア体験●

開催日：4月16日（日） 参加者2名 スタッフ6名
 畑PJ担当でしたが、事務局などの他グループの方々に協力いただき実施しました。
 室内で観察の森や友の会の概要説明の後、各スタッフが活動内容を紹介しながら園内を散策しました。
 観察の森や友の会をよく理解していただいたと思います。 畑プロジェクト 落合

●森の作業体験(間伐体験)●

開催日：5月27日（土） 参加者2名うち小学生1名、スタッフ6名
 トイレ前の林にて、シラカシの小径木を間伐したのち、枝払いを体験してもらいました。その後、炭小屋にてコースターづくりや火起こしを行いました。
 その後、炭焼きやシイタケ原木栽培を見学してもらいました。
 大人も小学生も初めてで珍しく、ワクワクする体験で、また来たいという感想をもらいました。



ZFC 星隈

友の会行事のお知らせ

●「野草保護の助っ人」参加者募集 ●

希少な植物を守る“助っ人”を募集します。希少植物の勉強をしながら、外来種や繁茂している草を抜く、どなたでもできる作業です。一緒に作業して下さる方、手を貸して下さる方、日程が合わないけれども興味ある方、ご連絡ください！

日時：7月11日（火）、7月15日（土） 9：30～11：30 各回5名

（小雨決行、荒天や警報が出た場合は7月17日（月祝）に延期）

対象：各回5名（抽選） 参加費：無料

持ち物：軍手、飲み物、タオル、あれば長靴、他詳細は当選者にお知らせします。

申込・問合せ：entry@ynstomo.org

件名を「野草保護の助っ人」とし、本文に以下の3点を明記の上、7月1日（土）までにメールでお申込みください。

（1）お名前（参加される方全員）、（2）メールアドレス、（3）参加希望日
 メールアドレスの無い方は、FAXか電話で自然観察センターに連絡先をお伝えいただければ、折り返しご連絡いたします。 主催：野草の調査と保護PJ

●自然の本の紹介交流●

好きな自然（動物・鳥・昆虫・植物など）の本や絵本についてお話してみませんか。
 一人一冊持ち寄り紹介し合います。

日時：7月30日（日）10：00～11：30

場所：ごろすけ館

対象・定員：友の会会員・7名、先着順です。 申込期間：7月1日（土）～7月22日（土）

申し込み：Eメール（entry@ynstomo.org） 担当：カフェ志釜

●「ハイド前の環境整備」をしよう ●

日時：2023年8月27日（日）9：10～1時間程度（少雨決行）

集合場所：センター前

参加者：会員限定（中学生以上）（申し込み不要）

持ち物：帽子、汚れても良い服装、軍手、長靴、飲料

ハイドからはトンボ類や鳥類の観察が行えますが、毎年夏草の繁茂で、見通しが悪化します。皆の力で観察窓から生物に圧力を掛けない観察が容易に出来るよう、草刈り、枝払いをしましょう。

会員の皆さんの参加をお待ちしています。 担当：カワセミファンクラブ



自然観察センターだより



2023年 6月号

【おしらせ】 友の会向けお話し会 ～観察の森の開園時からの植生のうつりかわり～

日時：7/16（土）11：10～12：00

集合場所：自然観察センター 研修室

話し手：古南幸弘（元横浜自然観察の森チーフレンジャー／（公財）日本野鳥の会施設運営支援室長）

観察センターの展示室の、開園当時の写真パネルはご覧になりましたか？当時、観察の森の一部には木がほとんどなく、草はらや裸地が広がっていました。そこから35年以上たち今は…。開園まもなくを知る古南から、当時のエピソードをまじえて森の移り変わりをお話します。資料の準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに中沢



(nakazawa-k@wbsj.org)、または大久保 (ohkubo@wbsj.org) までご連絡ください。

※6/10でご案内していました保全管理フォローアップの会はこちらへ変更となりました。

【報告】 タッチ—くんといこう！春のおさんぽラリー

ゴールデンウィークの5/3～6の期間、今年もイベント「タッチ—くんといこう！春のおさんぽラリー」を開催しました。

今回は対象年齢を未就学児から小学校低学年に下げて実施。以前より小さな子の家族連れの来園が増えたことからの試みです。イベント当日は、友の会のみなさんにサポートいただきました。4日間の期間中の参加者は約350名、昨年より短い日程でしたが、天気にも恵まれ多くの方に参加してもらいました。

「子どもが積極的に観察していた」「たくさん発見しながら歩けた」「虫が苦手な嫁さんも楽しめた」「ゴールでいろいろ教えてもらった、楽しかった」などうれしい感想がありました。



【お知らせ】 緊急連絡先を掲示しました

園内は早朝、夜間も含め多くのボランティアの皆様が活動されています。「不審なこと、人を見かけた」「いつもと違うことが起きている！」など目撃したり、お気づきのことがありましたら、観察センター

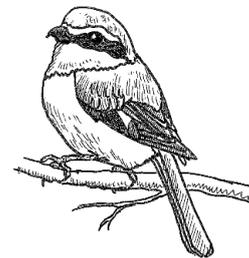
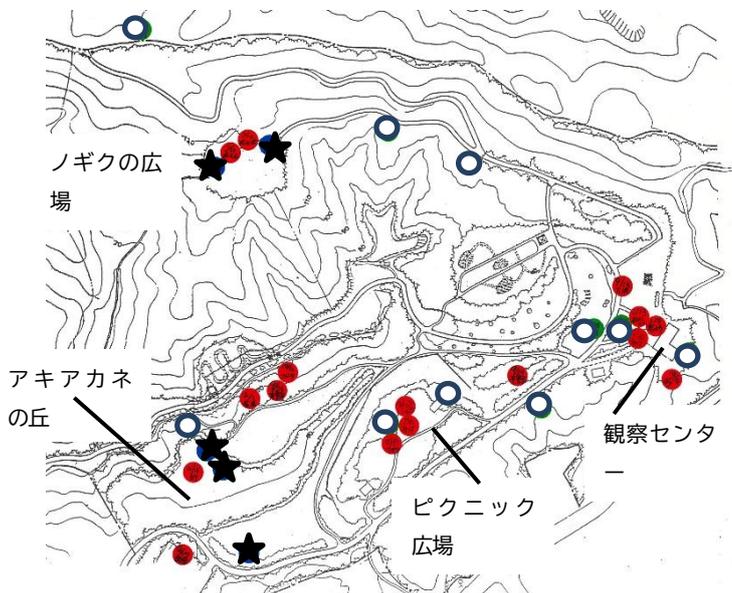
<TEL:045-894-7474>までお知らせください。ただし観察センターは月曜休館、また早朝夜間はレンジャーがいません。その場合には京浜警備<TEL:045-461-0105>まで連絡をお願いいたします。連絡先を記したサインはハイドやトイレを中心に建屋に掲示しています。



【よみとき調査報告】 *このコーナーではレンジャーの取り組む調査についてご紹介します。

モズは草はらの管理の見張り役？～秋冬鳥類なわばり調査より～

毎年9月のはじめ、観察センターの事務室に地図を貼り、モズ・ジョウビタキ・ルリビタキ、今年はどこに来るかな？とワクワク。秋から早春3月までのあいだ、これらの鳥の観察場所を地図の上に記録していくのです。モズやジョウビタキ、ルリビタキは冬の間、1羽1羽が自分の「なわばり」を持ち、餌をあらゆる他の鳥をなわばりから排除して過ごしています。そのため、観察を続けると、どのくらいの数が園内で過ごしているか、ある程度推測することができてしまうのです。下記の地図は2021年度のモズの記録です。★はオス、●はメス、○は雌雄不明です。オスはノギクの広場と、アキアカネの丘に印があります。近い★印は同じ個体だろうと予想して、オス2羽としました。メスを表す●はオスより多いですね。観察センター付近、ピクニック広場、アキアカネの丘、ノギクの広場と、印がまとまっているところに1羽ずついそうです。が、広場間を行き来している可能性も考えて、3～4羽と幅をもたせて予想しました。関谷奥見晴台、ミズキの道トレイル上に出た雌雄不明は、もしかしたら前述の予想に入らない別個体かも・・・ということ、雌雄不明が1羽いたのでは・・・と推測しました。



また・・・

モズは明るい林や草はらなど開けた環境を好む鳥です。この結果でもそのような場所に現れています。モズが来てくれるということは、彼らの好む環境が維持されているということ、草はらがちゃんと管理されているか、見張り役の鳥ともいえるかもしれませんね。

※もちろん、この調査の結果は一つの目安です。観察する人の人数によって、年ごとの調査精度にある程度ブレがあります。

*ジョウビタキ、ルリビタキの結果は??→気になった方はぜひ調査報告書を見てください。

観察の森 HP でも公開中です。

ボランティアさん
ありがとう



4月1日～5月31日

- ・カワセミファンクラブのみなさま / 自然情報・園内の利用状況の情報提供
- ・野草の調査と保護プロジェクトのみなさま / 自然情報のご提供
- ・鳥のくらし発見隊のみなさま / 野鳥情報のご提供
- ・久門正弘さん / 園内の火気の初期消火、センターへの通報等のご協力
- ・石川裕一さん・今村修さん・中里幹久さん・水上重人さん / 主催行事へのご協力
- ・雑木林ファンクラブのみなさま / 大型連休中の来園者への案内のご協力

横浜自然観察の森 自然観察センター (月曜休館・祝日の場合はその翌日)

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

<https://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

指定管理者:



行事スケジュール 6月～8月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●(一般参加者募集)

●「野草保護の助っ人」参加者募集

希少な植物を守る“助っ人”を募集します。希少種の勉強をしながら、外来種や繁茂している草を抜く、どなたでもできる作業です。

詳細は5ページ参照

日時：7/11(火)・7/15(土)
9:30～11:30 各回5名

(小雨決行、荒天や警報が出た場合7/17に延期)

申込 / 問合せ：entry@ynstomo.org

(件名は「野草保護の助っ人」、参加者全員の名前、メールアドレス、参加希望日を明記)

メールアドレスの無い方は、FAXか電話で自然観察センターに連絡先をお伝えいただければ、折り返しご連絡いたします。

持ち物：軍手、飲み物、タオル、あれば長靴

担当：野草の調査と保護PJ

●友の会 定例行事●(一般参加者募集)

●季節の森を歩こう(対面開催)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～

7/3(日)・8/7(日)

11:00～1時間程度

定員：先着10組(1端末が1組、1組何人でも可)

申込：メールで entry@ynstomo.org

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

事前申込制で活動しています!

7/10(日)・8/14(日)

9:20～12:00(小雨決行)

定員：40名(事前申込、応募多数の場合抽選)

対象：小学生以上(小学生は保護者同伴で)

申込：メールで entry@ynstomo.org

申込内容等、詳細はブログ「森のでできごと」参照

担当：鳥のくらし発見隊

毎月第2日曜

●友の会 季節行事●(友の会会員向け)

●ハイド前の環境整備

日時：8/27(日) 9:10(センター前集合)

参加：友の会会員(中学生以上)

持ち物：汚れても良い服装、飲み物、帽子、軍手、長靴

担当：カワセミファンクラブ

●自然の本の紹介交流

日時：7/30(日) 10:00～11:30

持ち物：好きな自然の本や絵本を一冊

場所：ごろすけ館

対象・定員：友の会会員・7名(先着順)

申込期間：7/1(土)～7/22(土)

申込：Eメール(entry@ynstomo.org)

担当：カフェ志釜

●友の会 定例行事●(友の会会員向け)

●定点カメラで動物調査

7/9(土)・8/13(土)

9:30～12:00

※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。

センターに確認のこと。

対象：友の会会員向け(最大6名まで)

持ち物：汚れても良い白っぽい服、動きやすい靴で
タオル、水筒持参

集合：ゴロスケ館 5月～11月の第2土曜日

●参加者募集中止・未定の定例行事●

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

次回は11月の予定です。

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

2023年度行事活動は未定です。

●昆虫調べ隊

～モニタリング1000チョウ類調査体験～

2023年度行事活動は調整中です。

★ 注意 ★

新型コロナウイルス感染症対策の状況によっては、各行事の募集中止/再開、開催方法や開催日の変更などの可能性もあります。

友の会のホームページ

(<http://ynstomo.org/>)

ブログ (blog.livedoor.jp/yns_tomo/)

で随時情報を更新していきますので、そちらでご確認をお願いいたします。

発行日 2023年6月21日

発行 横浜自然観察の森友の会

F A X 045-894-8892

E-mail: jimukyoku@ynstomo.org